

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ライオンズ相模原ライズフォート	階数	地上14F
建設地	相模原市中央区相模原五丁目284	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	312人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年11月 予定	評価の実施日	2012年6月1日
敷地面積	1,183 m ²	作成者	株式会社長谷工コーポレーション
建築面積	612 m ²	確認日	2012年8月9日
延床面積	6,593 m ²	確認者	株式会社長谷工コーポレーション



ださい

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8 ★★★★★

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

参照値: 100%

建築物の取組み: 73%

上記+: 73%

上記+: 73%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 4.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		その他
総合 住環境として必要不可欠なもの+生活する上でのランニングコストを抑えた住宅		0
Q1 室内環境 住宅性能表示制度 省エネ等級4を取得予定 バルコニー+カーテンレールの設置	Q2 サービス性能 電話設備とは別にインターネットへ接続できる環境を構築し通信手段の多様化を図っている。	Q3 室外環境(敷地内) 接道部より入りやすい形状の自主管理広場は、地域に開放された。コミュニティスペースと同時に街並みの緑の形成に寄与
LR1 エネルギー 住宅性能表示制度 省エネ等級4を取得予定 給湯設備に潜熱回収型給湯器を採用し、ガス消費量の削減及びCO ₂ 排出量の削減に配慮した。また、各住戸西・東2面に採光通風窓を設け風の通り抜ける形状としている。 サッシにはペアガラスを採用	LR2 資源・マテリアル 躯体と内装を分離した設計 設備配管は躯体埋没なし	LR3 敷地外環境 省エネルギー等級4の断熱仕様

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される